

「飢餓をみんなでおこそう」

前にSDの学習で動画をみて、毎日一人
チャレンジャー。ばい分のまだ食べられる(食品ロス)
がおこっていると知ってなぜ、まだ食べられるの
に、食品ロスが捨てられているのだろうか、と疑問
に思った。

そして、自分たちには食品ロスを減らすために
何かできることは、ないのだろうか。

今、世界では6億人が飢餓に苦しんでいる。
これは、人に一人が飢餓に苦しんでいるという
ために2020年には6.4億人に増えそうと予測
されている。

日本の今の食料自給率(食料を
自分の国で生産する割合)が38%。つまり食料
の半分以上を外国からの輸入にたよっ
ているそうだ。
それなのに、今の日本では、約600万トンの食品が捨てら
れている。

飢餓がおこる。原因を考えてみると、そも
そも、食品を生産できないが、もし生産できても質
が低い、不衛生、などの理由で起きているのだ
と思う。

それない今いる国で作るのではなく、はたまた所か
ら食品をとどけてあげれば良いと思っ
た。

そう言う取りくみを「フードバンク」と呼んで、
全国での団体が活動している。



10の団体が活動しているのなら、食料を飢饉
の人たちにいれんできると思った。

そして、いすべかは、食品ロスも飢饉で苦しんで
いる人達をみんむせろにしたい。

確かに、「自分はやいからとホタタがはいよ。」と思う人

もいるかもしれない。でも、「もういっただ、こぼしい。」と

思う人もいるその時にもいあなだがいればかくに立

てるかもしれない。

だから、みんなので取りくんで世界中の人がおこしい
づはんが食べられる世界にしたい。

出典・SDGs目標② 飢饉をゼロに

・国谷裕子とチャレンジャー！未来のE

めのSDGs①「人間」に関するゴール